

「生涯学習意識調査」の結果をお知らせします
市民の約4割が継続的に学習活動をしています

① 生涯学習課生涯学習係 ② 3 9 2 6 8

市では、市民の皆さんの生涯学習に関する意識を把握し、これからの生涯学習事業に生かしていくため、平成17年12月、「生涯学習意識調査」を行いました。ご協力ありがとうございました。調査結果の一部を紹介します。

対象 市内在住の20歳以上の方

調査人数 2,500人（無作為抽出）

回答人数 1,112人

回答率 44.5%

回答方法 選択式

調査結果「平成17年度袋井市生涯学習意識調査報告書」は、公民館と図書館でご覧いただけます。

今後は、生涯学習の基本となる「生涯学習推進大綱」を策定します。皆さんのご意見をお寄せください。

回答者の年齢層

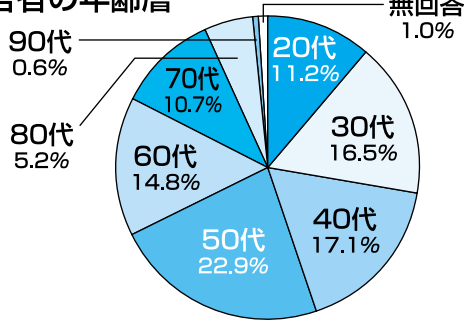


図1. 継続して何かを学んでいますか？

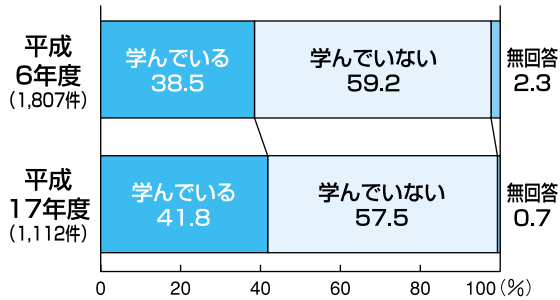
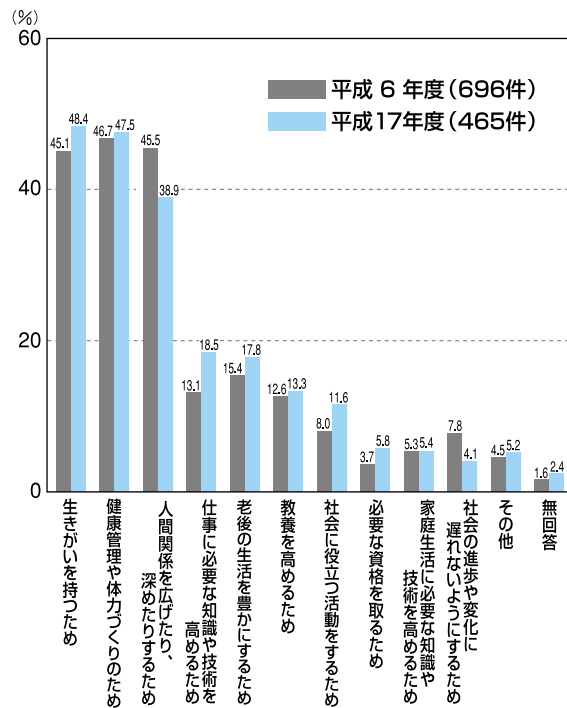


図2. 学習活動の目的は何ですか？（複数回答）



継続して何かを学んでいますか？

何かを学んだり、学習活動をしたりしていると答えた人は41.8%です。平成6年度の調査より3.3ポイント上がっています（図1参照）。

学習活動の内容は、「ウォーキングなどのスポーツ」が44.5%で最も多く、次いで「生け花や盆栽などの趣味」19.4%、「ボランティアや地域活動」17.2%という結果でした。

学習活動の目的は何ですか？

「生きがいを持つため」48.4%、「健康管理や体力づくりのため」47.5%、「人間関係を広げたり、深めたりするため」38.9%の三つが飛び抜けて高いという結果でした（図2参照）。

経済・技能的なものよりも生きがい、趣味、スポーツ的なものを学習活動として選ぶ傾向にあることが分かりました。

継続して学習活動をしていない理由は何？

「仕事で時間に余裕がない」が43%で最も高い理由でした。そのほか、「スケジュールが合わない」18.5%、「近くに適切な施設がない」11.3%、「自分の学びたいものがない」10.2%など今後学習活動への参加が期待できる回答も多くなりました。

これから始めたい活動は何ですか？

「ウォーキングなどのスポーツ」が48.6%で飛び抜けて高く、次いで、「生活技術に関するもの」24.2%、「仕事に役立つ資格や技能に関するもの」22.1%、「趣味的なもの」18.7%となっています。

学び続けるために行政に望むことは何ですか？

「気軽に参加できる初歩的な内容の講座やスポーツ、レクリエーションの機会を増やしてほしい」「講座を開催する曜日や時間を工夫してほしい」という意見が上位を占めています。